

# 「二宮町総合戦略」に係る アンケート調査結果

令和元年 7 月



## 1. 調査概要

### 1) 調査目的

本アンケート調査は、本町の取り組みに対する町民の評価を把握する目的で実施するものである。

### 2) 調査方法

- 調査票は郵送により配布し、返信用封筒による郵送回収を行う。

### 3) 調査期間

- 平成31年4月26日（金）～令和元年5月17日（金）  
※ 但し、本報告書では5月24日（月）到着分まで集計

### 4) 調査対象及び回収状況

- 対象者：1,000名  
平成31年4月16日現在の住民基本台帳から、満18歳以上の男女各世代（10代、20代、30代、40代、50代、60代以上）より、年代ごとの人数を均等に1,000名を無作為抽出。
- 回収数：414票（41.4%）

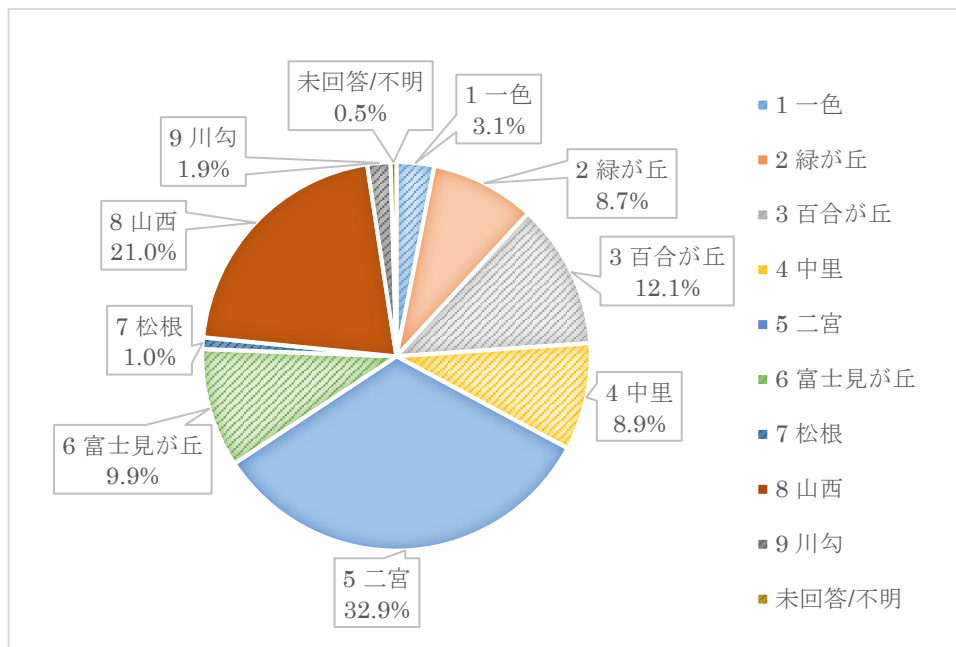
地 域	今回調査			平成30年5月実施 (以下、前回調査)		
	人 数	回収票	回収率	人 数	回収票	回収率
一 色	29名	13票	44.8%	39名	13票	33.3%
緑が丘	90名	36票	40.0%	91名	38票	41.7%
百合が丘	123名	50票	40.6%	120名	42票	35.0%
中 里	109名	37票	33.9%	121名	47票	38.8%
二 宮	293名	136票	46.4%	282名	107票	37.9%
富士見が丘	90名	41票	45.5%	83名	27票	32.5%
松 根	12名	4票	33.3%	14名	9票	64.2%
山 西	233名	87票	37.3%	230名	90票	39.1%
川 匂	21名	8票	38.0%	20名	9票	45.0%
未回答	-	2票	-	-	0票	-
合 計	1,000名	414票	41.4%	1,000名	382票	38.2%

- 調査票不到達数：3名（理由：宛名不明）  
    <内訳> 20代 男性：2名（二宮、緑が丘）  
          60代以上 男性：1名（二宮）

## 2. 調査結果（概要）

### 問1 住所

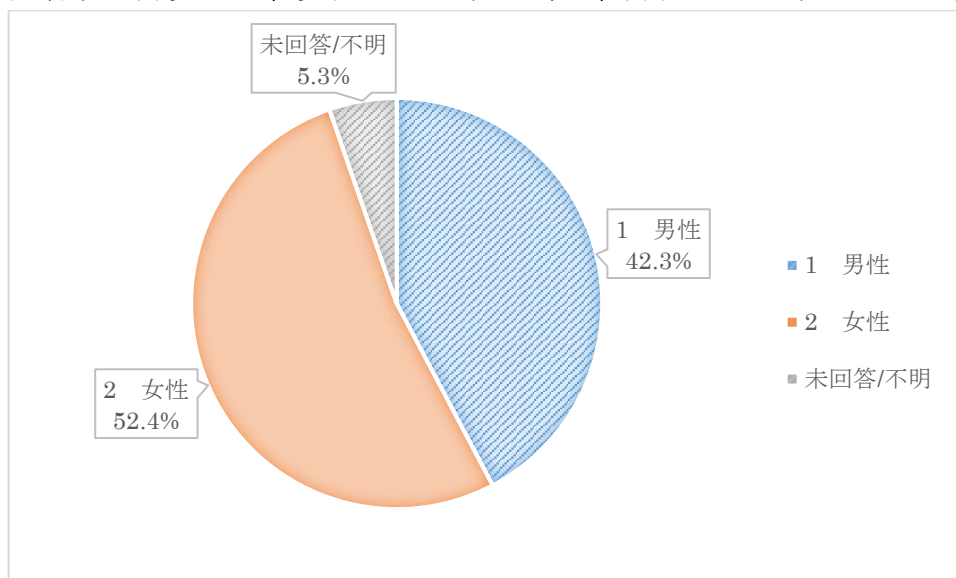
- 回答者の居住地は、調査対象者人数に比例し、二宮が最も多く32.9%、次いで山西の21.0%と続く。



n=414

### 問2 性別

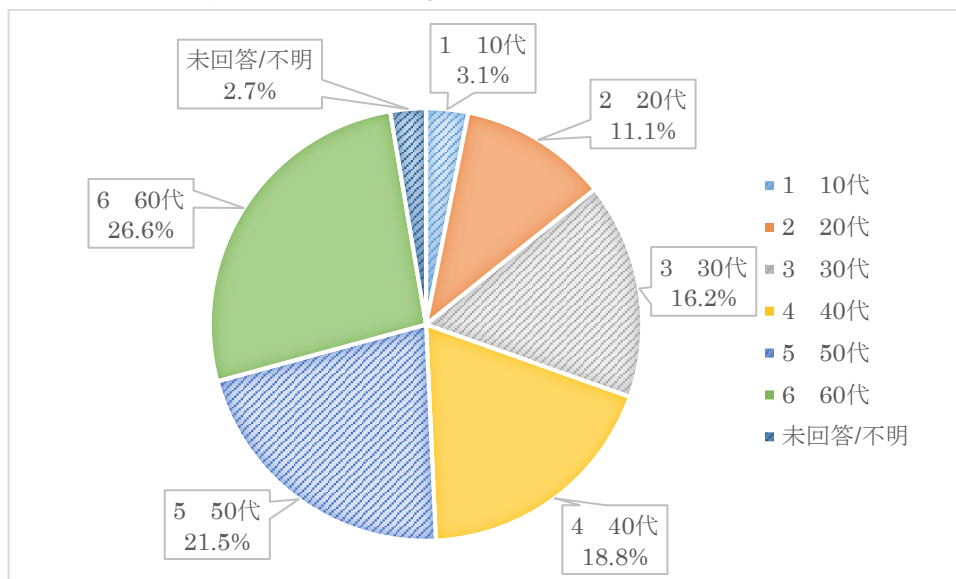
- 回答者の男女比は、女性が52.4%に対し、男性が42.3%であった。



n=414

### 問3 年齢

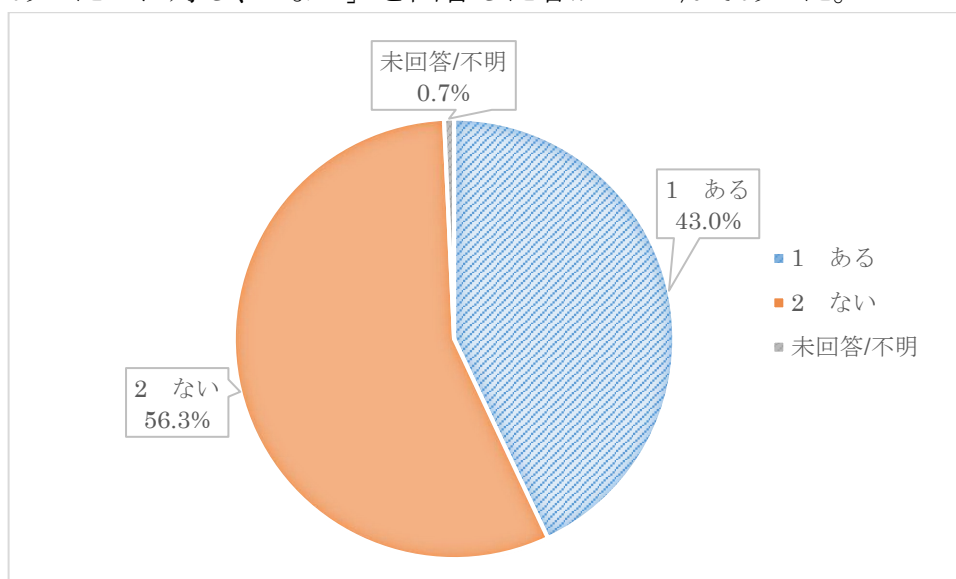
- 60代以上が26.6%と最も多かったのに対し、10代と20代併せて14.2%となり最も少なかった。



n=414

### 問4 運動習慣について

- 運動習慣の有無について、運動習慣が「ある」と回答した者が43.0%であったのに対し、「ない」と回答した者が56.3%であった。



n=414

#### 【参考】 前回結果との比較

回答	前回結果	増減 (今回結果-前回結果)
運動習慣が「ある」	41.1%	+1.9%
運動習慣が「ない」	58.9%	-2.6%

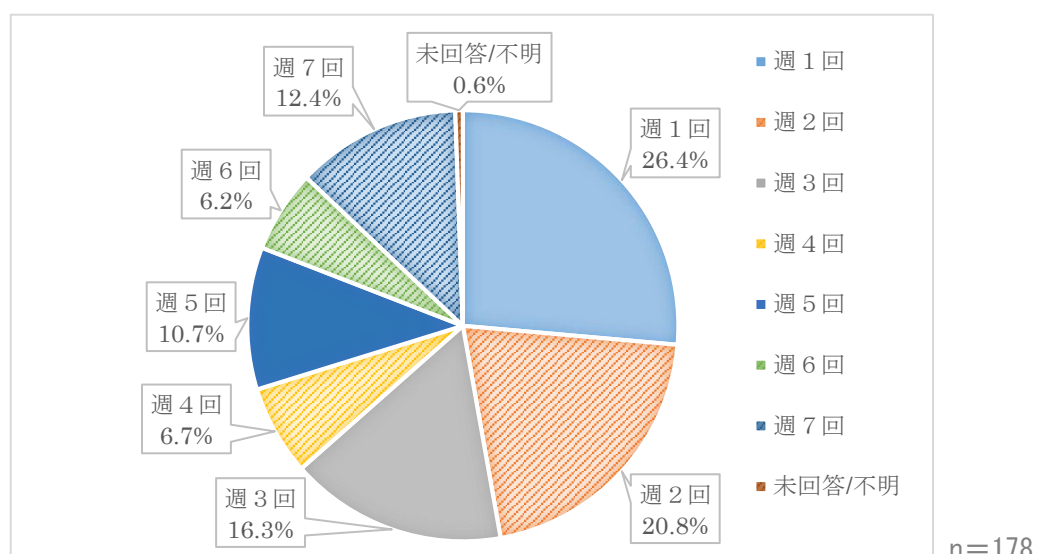
- 年代別に見ると、運動習慣が「ある」と回答した人の割合が最も高かったのは60代以上で、同年代の全回答者の57.8%を占めた。次いで10代が46.2%で続く。一方、運動習慣が「ない」と最も多く回答したのは、30代で70.1%、次いで40代が66.7%で続いた。

運動習慣 年代	今回調査			前回調査		
	「ある」	「ない」	未回答 不明	「ある」	「ない」	未回答 不明
10代	6 (46.2%)	7 (53.8%)	-	1 (12.5%)	7 (87.5%)	-
20代	16 (34.8%)	30 (65.2%)	-	15 (32.6%)	31 (67.4%)	-
30代	20 (29.9%)	47 (70.1%)	-	16 (25.4%)	47 (74.6%)	-
40代	26 (33.3%)	52 (66.7%)	-	18 (28.6%)	45 (71.4%)	-
50代	41 (46.1%)	48 (53.9%)	-	43 (50.0%)	43 (50.0%)	-
60代 以上	63 (57.8%)	46 (42.2%)	-	62 (56.9%)	47 (43.1%)	-
未回答 不明	6	3	2	2	5	-
合 計	178 (43.3%)	233 (56.7%)	-	157 (41.1%)	225 (58.9%)	-

※ 各年代の数値の下にある（ ）内の割合は、年代ごとの全回答者に占める割合

※ 合計の数値の下にある（ ）内の割合は、全回答者に占める割合

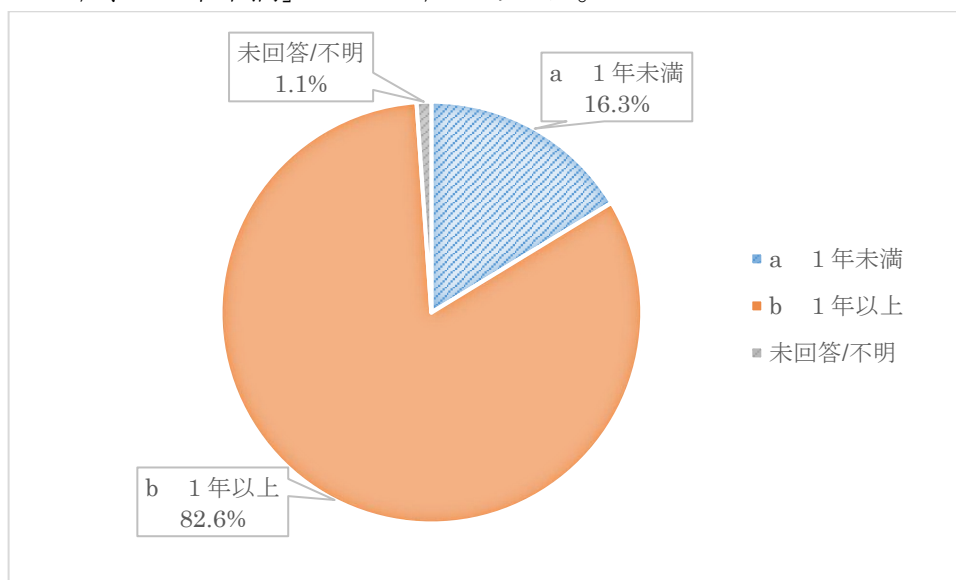
- 運動習慣が「ある」と回答した者の1週間の運動日数について、「週1日」が26.4%と最も多く、次いで「週2日」が20.8%であった。



- ・ 運動習慣が「ある」と回答した者の全体の1日平均運動時間は、1時間25分であった。

	今回調査	前回調査
週1回	1時間40分	2時間3分
週2回	1時間48分	1時間37分
週3回	1時間16分	1時間30分
週4回	1時間17分	1時間6分
週5回	1時間10分	1時間13分
週6回	0時間55分	1時間37分
週7回	0時間59分	1時間19分
全体平均	1時間25分	1時間32分

- ・ 運動習慣が「ある」と回答した者の運動継続年数は、「1年以上」が82.6%、「1年未満」が16.3%であった。



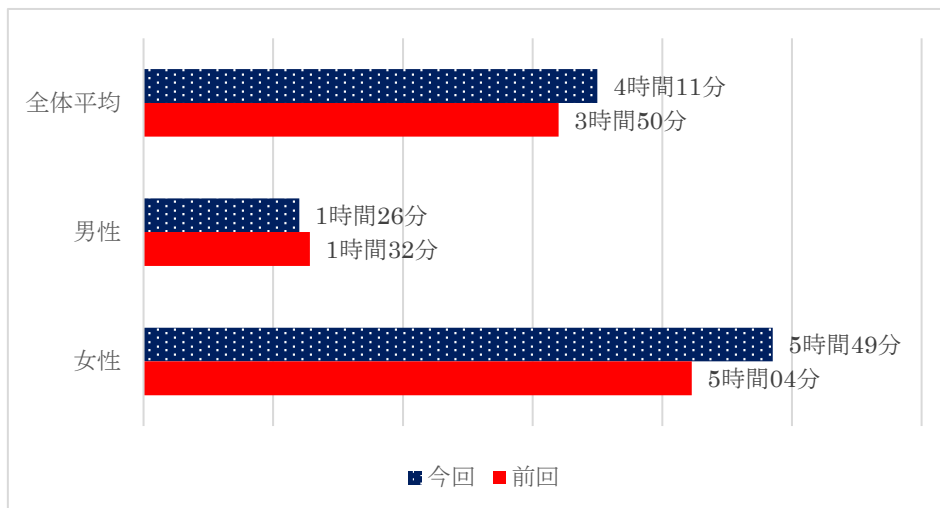
n=178

【参考】 前回結果との比較

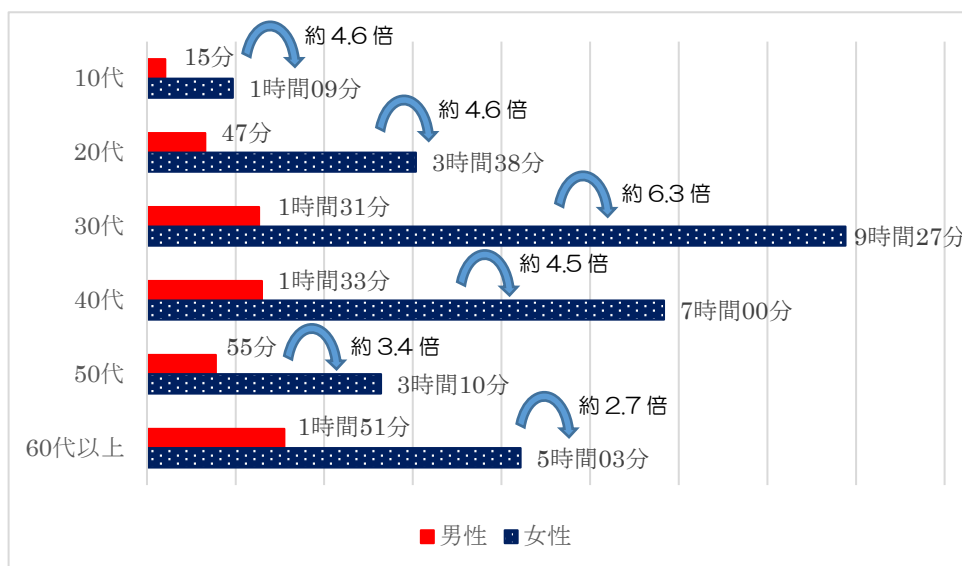
回 答	前回結果	増減 (今回結果-前回結果)
1年未満	7.6%	+8.7%
1年以上	91.1%	-8.5%

## 問5 子育てと仕事の両立について

- 1日のうち家事や育児にかかる時間の全体平均は、4時間11分であった（回答者の男女比は、男性が37.1%に対し、女性が62.9%）。
- 男女別に見ると、男性の平均時間が1時間26分、女性の平均時間が5時間49分であった。



- 年代別・男女別に見ると、30代女性が9時間27分と最も長く、次いで、40代女性の7時間00分と、子育て世代の女性が長いことが分かる。一方、最も時間が短いのは、10代男性の15分であった。
- すべての年代において、女性が男性に比べ、約2倍以上長いことが分かる。



- 子育て世代である30代及び40代を男女別及び平日・休日別に見ると、男女ともに平日に比べ、休日に家事や育児にかかる時間の平均が増加している。
- 特に、40代男性について、平日に比べ、休日の平均時間の増加率が、約2.8倍と大きく増加している。





### 問6 住環境に対する評価について

二宮町の住環境の満足度と重要度について項目ごとに5段階で評価し、その回答の加重平均を算出し、順位づけをした。加重平均を算出する際には、「満足（重要）」を2、「やや満足（やや重要）」を1、「どちらとも言えない」を0、「やや不満（あまり重要ではない）」を-1、「不満（重要ではない）」を-2とし、数字が大きくなるほど評価が高く、数字が小さくなるほど、評価が低いことを表している。

#### (1) 全体の傾向

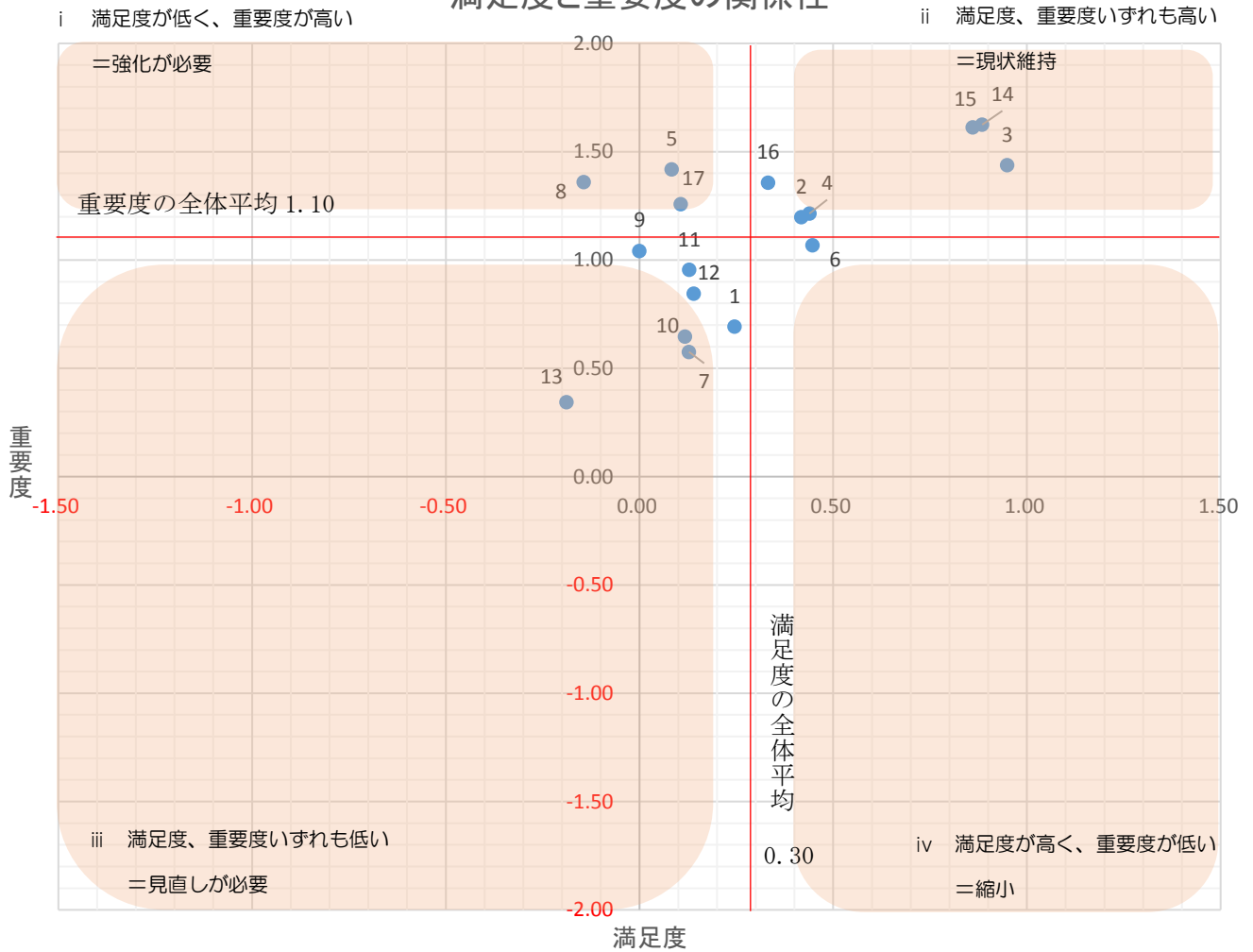
住環境の満足度の加重平均値は、0.30であった。項目ごとの満足度の加重平均値は-0.19~0.95の間で、加重平均値の中央にあたる0よりやや上回っている。一方、重要度の加重平均値は、1.10であった。項目ごとの重要度の加重平均値は0.34~1.62の加重平均の中央にあたる0より高い水準の範囲で分布している。加重平均値が0を下回る重要度が低い項目はなかった。

	満足度	重要度
平均	0.30	1.10
最大値	0.95	1.62
最小値	-0.19	0.34

#### 【参考】 前回結果との比較

		今回結果	前回結果	増減 (今回結果-前回結果)
満足度	平均	0.30	0.30	±0.00
	最大値	0.95	1.04	-0.09
	最小値	-0.19	-0.12	-0.07
重要度	平均	1.10	1.09	+0.01
	最大値	1.62	1.61	+0.01
	最小値	0.34	0.22	+0.12

## 満足度と重要度の関係性



1 都心へのアクセス	2 最寄駅へのアクセス	3 住宅の条件
4 街並みや街の雰囲気	5 買い物の利便性	6 公園・自然環境
7 地域コミュニティ	8 医療・福祉	9 子育て環境
10 保育園の整備状況	11 小中校等の教育環境	12 公共施設
13 文化・芸術活動	14 治安のよさ	15 自然災害の少なさ
16 防災・減災まちづくり	17 道路や下水道等都市基盤	

### i 満足度が低く、重要度が高い＝強化が必要

- ・ 買い物の利便性
- ・ 医療・福祉
- ・ 道路や下水道等都市基盤

### ii 満足度、重要度いずれも高い＝現状維持

- ・ 住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）
- ・ 治安のよさ
- ・ 自然災害の少なさ

### iii 満足度、重要度いずれも低い＝見直しが必要

- ・ 地域コミュニティ
- ・ 保育園の整備状況
- ・ 文化・芸術活動

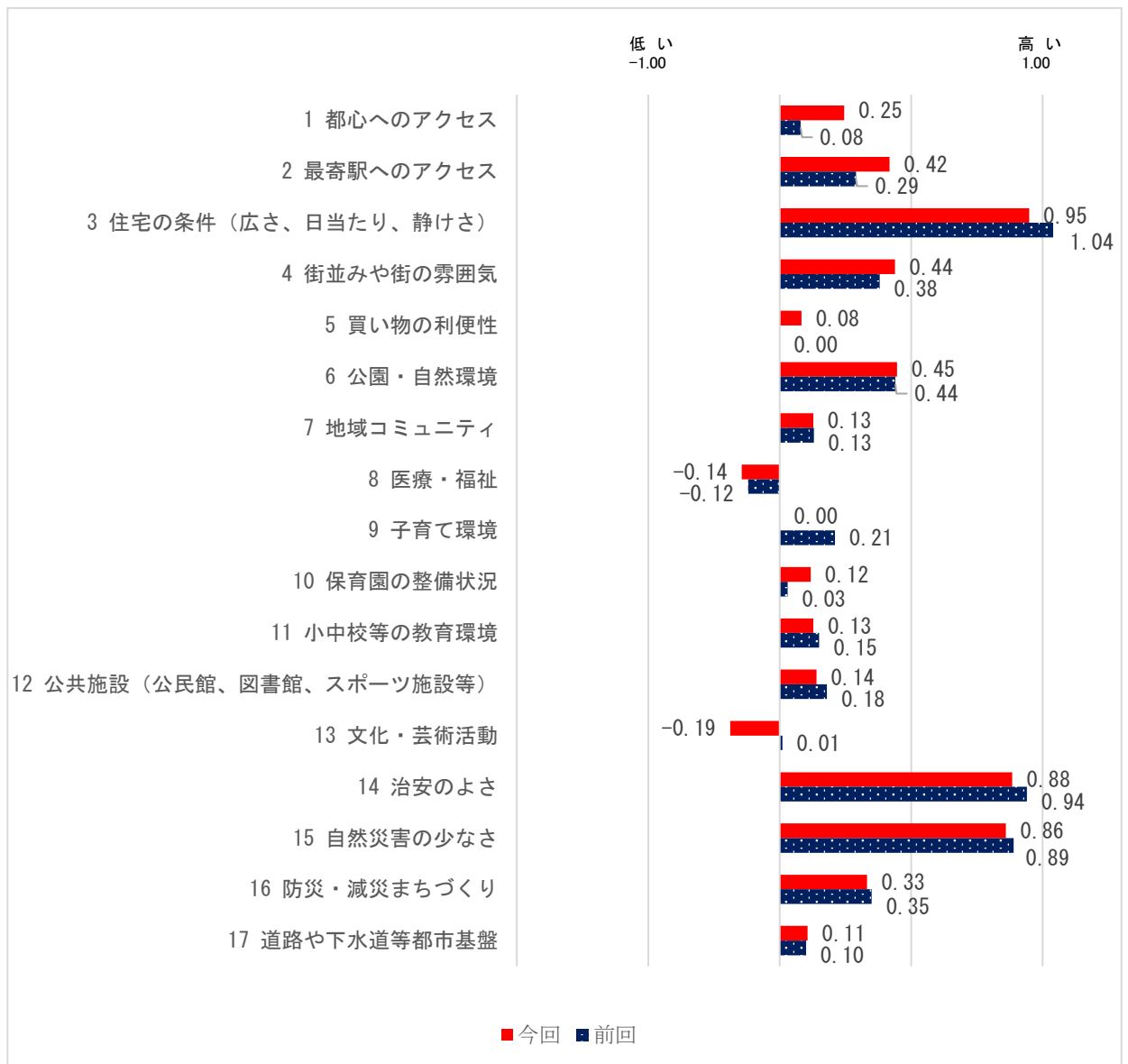
iv 満足度が高く、重要度が低い＝縮小  
該当なし

(2) 満足度・重要度ランキング

		加重平均値		加重平均値ランキング	
		満足度	重要度	満足度	重要度
1	都心へのアクセス	0.25	0.69	8	14
2	最寄駅へのアクセス	0.42	1.20	6	9
3	住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）	0.95	1.44	1	3
4	街並みや街の雰囲気	0.44	1.21	5	8
5	買い物の利便性	0.08	1.42	15	4
6	公園・自然環境	0.45	1.07	4	10
7	地域コミュニティ	0.13	0.58	11	16
8	医療・福祉	-0.14	1.36	16	5
9	子育て環境	0.00	1.04	14	11
10	保育園の整備状況	0.12	0.65	12	15
11	小中学校等の教育環境	0.13	0.95	10	12
12	公共施設（公民館、図書館、スポーツ施設等）	0.14	0.85	9	13
13	文化・芸術活動	-0.19	0.34	17	17
14	治安のよさ	0.88	1.62	2	1
15	自然災害の少なさ	0.86	1.61	3	2
16	防災・減災まちづくり	0.33	1.36	7	6
17	道路や下水道等都市基盤	0.11	1.26	13	7

① 満足度

- ・ 満足度については、全項目の平均値が 0.30 となっており、加重平均値が 0 を下回る項目が 2 つあるものの、その他の項目が加重平均値の中央にあたる 0 をやや上回り、全体としては良い評価が得られている。
- ・ 最も満足度が高かったものは、「住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）」(0.95)、次いで「治安のよさ」(0.88)、「自然災害の少なさ」(0.86) である。一方、評価が低かったものは、「文化・芸術活動」(-0.19)、次いで「医療・福祉」(-0.14)、「子育て環境」(0.00) である。
- ・ 前回調査の項目全般の加重平均値と今回調査の値が同じ 0.30 であったことから、評価は現状維持と言える。
- ・ 項目別に見ると、最も評価が向上したのは、「都心へのアクセス」（対前回比：0.17 増）であるのに対し、最も評価が低下したのは、「子育て環境」（対前回比：0.21 減）であった。

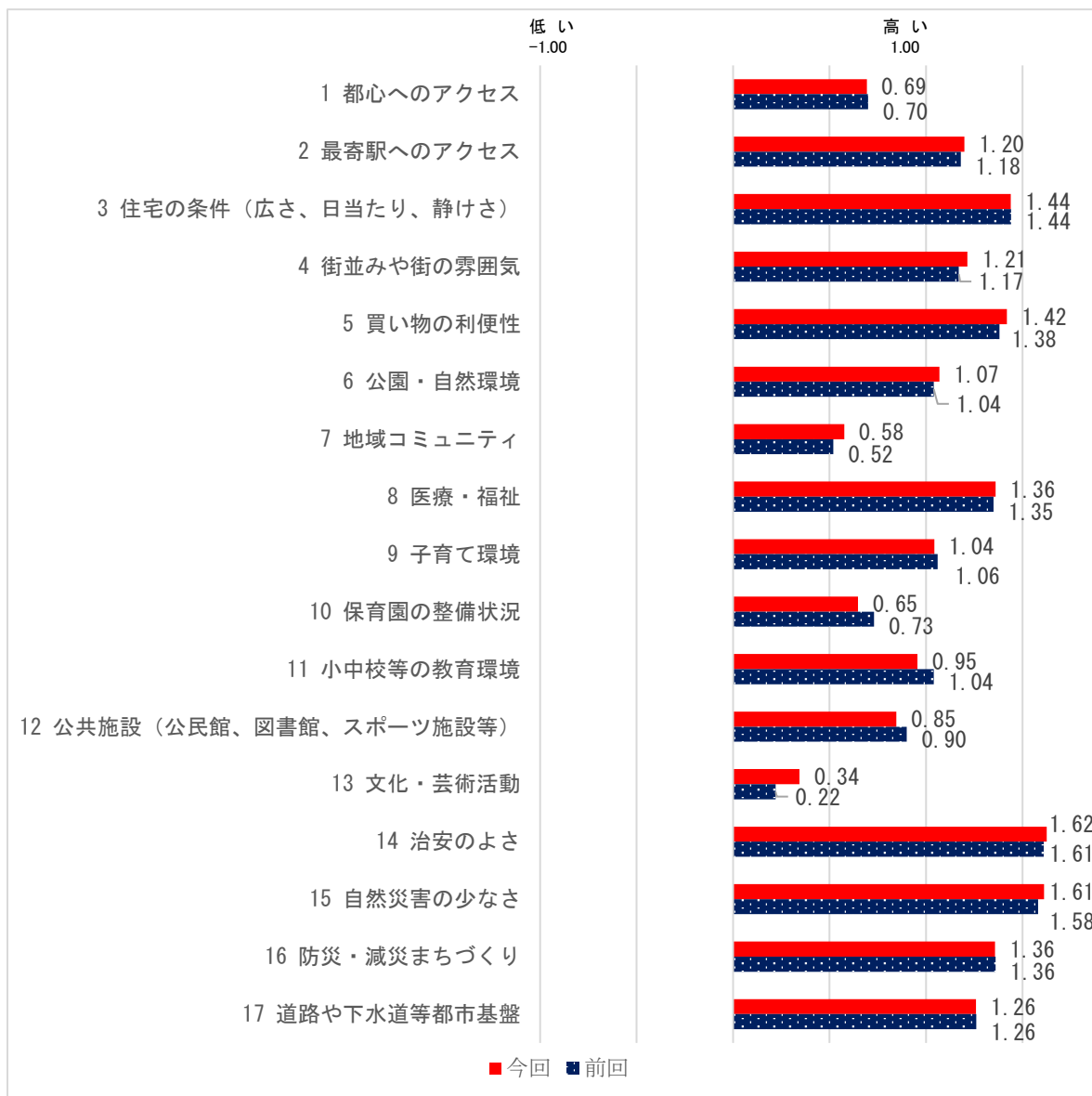


- ・ 年代別に見ると、全項目に対する評価の加重平均値が最も高かったのは10代であったのに対し、最も低かったのは30代であったが、その他の年代はほぼ僅差であった。
- ・ 10代と60代以上で比較すると、最も評価が分かれた項目は、「自然災害の少なさ」であった。
- ・ 60代以上よりも10代のほうが特に高い評価となった項目は、「自然災害の少なさ」であった。一方、10代よりも60代以上のほうが特に高い評価となったのは「最寄駅へのアクセス」、次いで「公園・自然環境」及び「地域コミュニティ」であった。
- ・ 各年代の最も評価の高い項目は、10代・20代は「治安のよさ」、それ以外の世代は、「住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）」であった。
- ・ 一方、各世代の評価の低い項目においては、10代、50代、60代以上は「買い物の利便性」、20代から40代は、「医療・福祉」であった。

		加重平均値						
		10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	全体
1	都心へのアクセス	0.69	0.17	0.13	0.12	0.26	0.41	0.25
2	最寄駅へのアクセス	-0.30	0.34	0.50	0.52	0.44	0.42	0.42
3	住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）	1.38	1.15	1.01	0.94	0.90	0.88	0.95
4	街並みや街の雰囲気	1.07	0.78	0.22	0.52	0.38	0.34	0.44
5	買い物の利便性	-0.30	-0.02	0.10	0.29	0.09	-0.05	0.08
6	公園・自然環境	0.23	0.52	0.16	0.32	0.56	0.63	0.45
7	地域コミュニティ	0.53	0.09	0.19	0.07	0.09	0.14	0.13
8	医療・福祉	0.69	-0.17	-0.49	-0.23	-0.07	0.04	-0.14
9	子育て環境	0.07	0.08	-0.22	0.14	0.24	0.20	0.00
10	保育園の整備状況	0.23	-0.02	-0.04	0.14	0.30	0.10	0.12
11	小中校等の教育環境	0.61	0.19	-0.07	0.22	0.12	0.16	0.13
12	公共施設（公民館、図書館、スポーツ施設等）	0.76	0.28	-0.05	0.07	0.20	0.16	0.14
13	文化・芸術活動	0.76	0.28	-0.05	0.07	0.20	0.16	-0.19
14	治安のよさ	1.53	1.17	0.83	0.74	0.88	0.85	0.88
15	自然災害の少なさ	1.23	1.06	0.52	0.87	0.82	0.10	0.86
16	防災・減災まちづくり	0.84	0.41	0.13	0.34	0.24	0.44	0.33
17	道路や下水道等都市基盤	0.53	0.28	-0.16	0.15	-0.04	0.26	0.11
	全項目平均	0.62	0.39	0.16	0.31	0.33	0.31	0.29

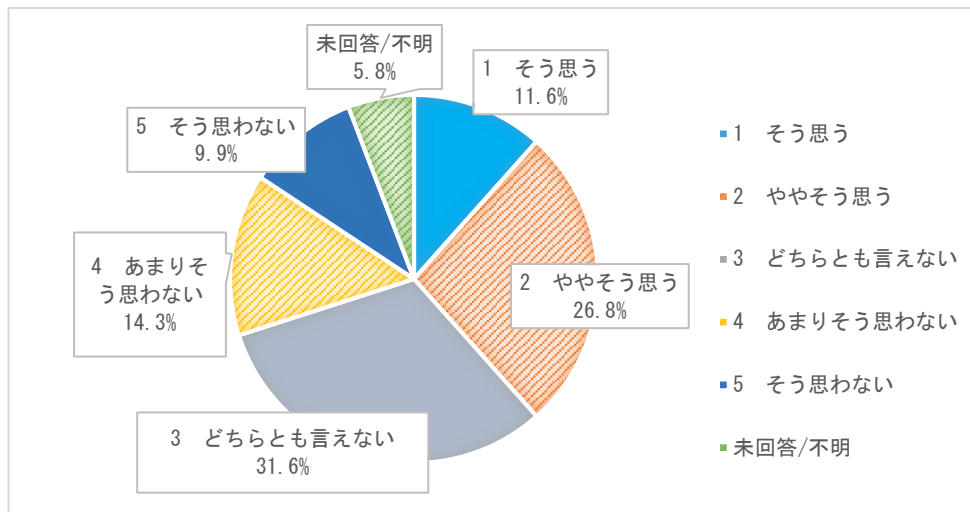
## ② 重要度

- 重要度については、加重平均値が6割以上の項目で1以上となり、全項目の平均値が1.10と、加重平均値の中央にあたる0を大きく上回り、全体としては、どの項目も重要であるとの評価となった。
- 最も重要度が高かったものは、「治安のよさ」(1.62)、次いで「自然災害の少なさ」(1.61)であった。一方、重要度が低かったものは、「文化・芸術活動」(0.34)、次いで「地域コミュニティ」(0.58)、「保育園の整備状況」(0.65)であった。
- 前回調査の項目全般の加重平均値が1.09であったのに対し、今回調査では1.10とほぼ同水準になっている。
- 項目別に見ると、最も評価が向上したものは、「地域コミュニティ」(対前回比：0.06増)であるのに対し、最も評価が低下したものは、「小中等の教育環境」(対前回比：0.09減)であった。



## 問7 出産・子育てについて

- 二宮町が、安心して妊娠・出産・子育てできる町であるかという問いに対し、「どちらともいえない」が最も多く、31.6%であった。「そう思う」（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は38.4%である一方、「そう思わない」（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）は24.2%であった。

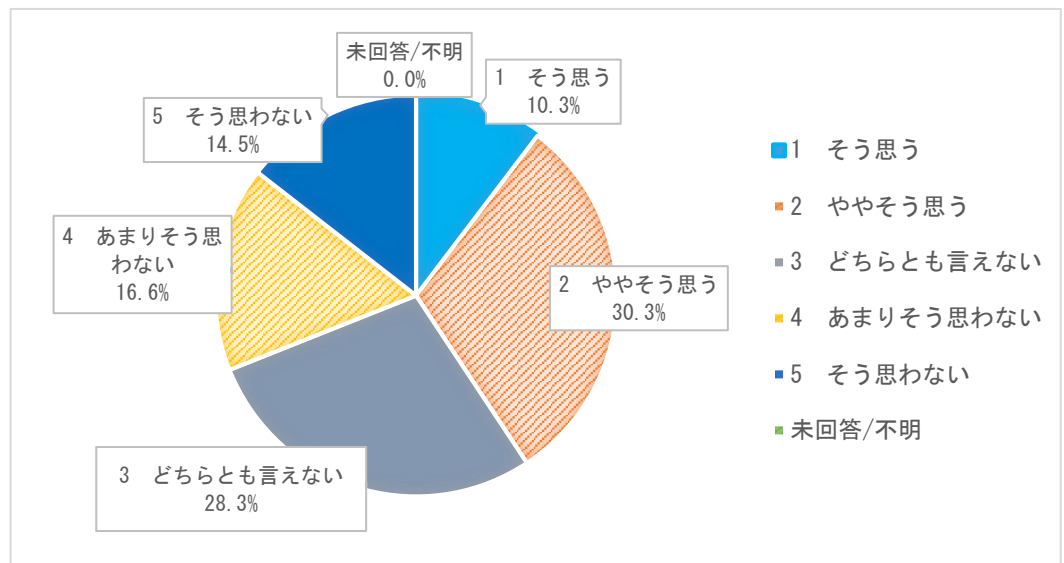


n=414

### 【参考】 前回結果との比較

回答	前回結果	増減 (今回結果-前回結果)
そう思う	10.2%	+1.4%
ややそう思う	28.8%	-2.0%
どちらともいえない	30.1%	+1.5%
あまりそう思わない	14.4%	-0.1%
そう思わない	7.9%	+2.0%
未回答/不明	8.6%	-2.8%

- 子育て世代である30代及び40代（合計）では、「そう思う」（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は40.6%、「そう思わない」（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）は31.1%となった。



n=67+78=145

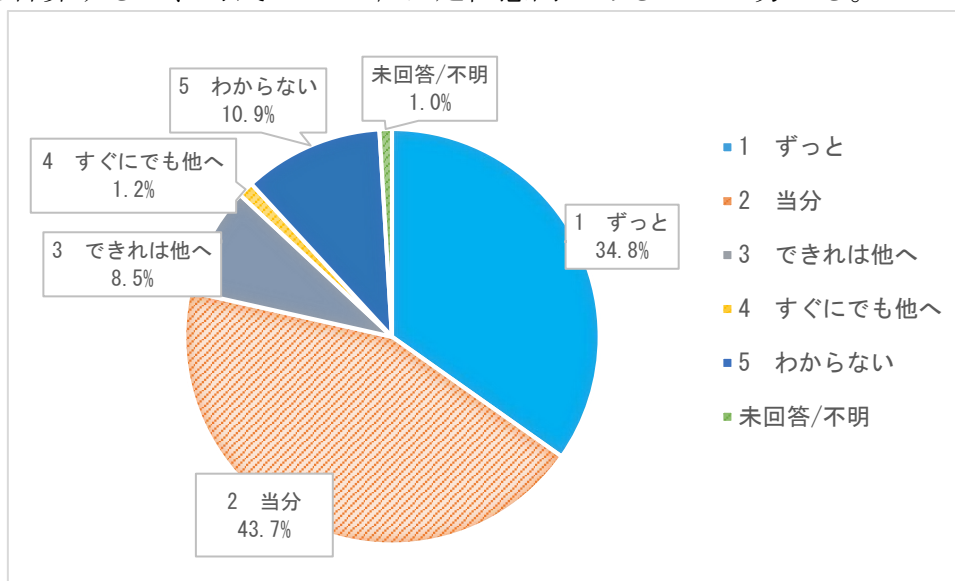
【参考】 前回結果との比較

回答	前回結果	増減 (今回結果-前回結果)
そう思う	12.5%	-2.2%
ややそう思う	30.5%	-0.2%
どちらとも言えない	26.6%	+1.7%
あまりそう思わない	14.8%	+1.8%
そう思わない	11.7%	+2.8%
未回答/不明	3.9%	-3.9%



### 問8 定住意向について

- これからも二宮町に住み続けたいと思うかという問いに対し、「当分住み続けたい」が最も多く、43.7%であった。「ずっと住み続けたい」と「当分住み続けたい」を合算すると、町民の78.5%に定住意向があることが分かる。

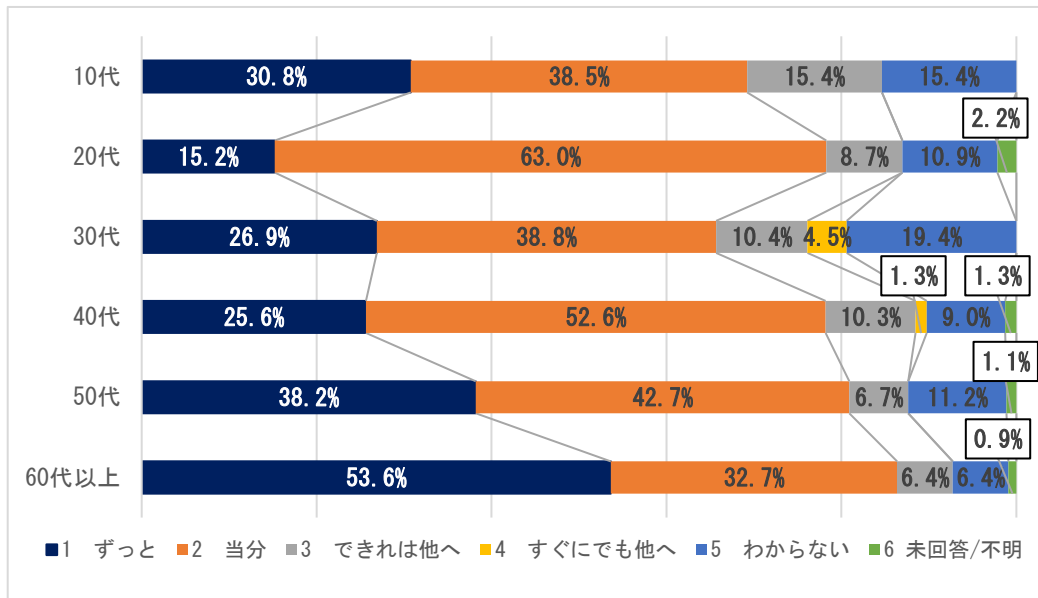


n=414

#### 【参考】 前回結果との比較

回 答	前回結果	増減 (今回結果-前回結果)
ずっと住み続けたい	38.2%	-3.4%
当分住み続けたい	39.0%	+4.7%
できれば他へ移りたい	8.9%	-0.4%
すぐにでも他へ移りたい	1.6%	-0.4%
わからない	9.7%	+1.2%
未回答/不明	2.6%	-1.6%

- 年代別に見ると、定住意向（「ずっと住みたい」と「当分住みたい」を合算）がある人の割合は、60代以上が最も高く、同年代の全回答者の86.3%となった。一方、転出意向（「できれば他に移りたい」と「すぐにでも他へ移りたい」を合算）がある人の割合は、10代が最も高く同年代の全回答者の15.4%、次いで30代が10.9%であった。



- 男女いずれも定住意向（「ずっと住みたい」と「当分住みたい」を合算）がある人の割合が7割を超えている。
- 男女別に見ると、男性よりも女性のほうが定住意向が高い。

